



概要

学部教職課程「**大学が独自に設定する科目**」及び教職大学院「**共通5領域に代えて大学が設定する新たな領域科目**」の特例を活用し、予測困難な社会に対応できる教員養成を指向した先導的・革新的な教員養成プログラムの研究開発5事業を展開する。これらの事業によって得られた知見を、他の教員養成大学・教職大学院や教職課程を有する大学に展開し、フラッグシップ大学として教員養成の在り方を変革していく牽引役となることを目指す。

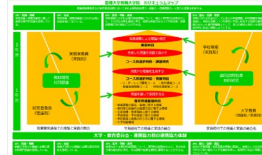
背景・課題

- ◆**人口減少社会対応**: 愛媛県及び近隣県における近未来の人口推計を踏まえた教員養成、及びこれを実現するための教育学部・教育学研究科の改革。
- ◆**持続可能な社会づくり対応**: 小規模市町村において、「地域とともにある学校づくり」を支え、これをリードできる教員養成プログラムの開発。
- ◆**Society5.0対応**: GIGAスクール構想事業に対応し、ICT教育を牽引できる教員養成プログラムの開発。
- ◆**教職の魅力化対応**: 教職=高度専門職を確立することで、教職を夢と誇りのある魅力的な職業とするための教員養成プログラム開発。
- ◆**人生100年時代対応**: 外部諸機関との連携により、教職セカンドキャリアに多様で魅力的な選択肢を提供する現職研修プログラムの開発。

事業構想

人口減少社会対応 ⇒ 小学校+2免許取得プログラム

小中一貫校・義務教育学校の増設への対応。愛媛県教育委員会等との信頼を基盤とした連携体制のもと、**小学校+2免許(幼稚園, 特別支援学校, 中高各教科)**を取得できるカリキュラムを構築することで、人口減少社会における学校システムに対応できる人材を育成する。



持続可能な社会づくり対応 ⇒ 地域創生プログラム

愛媛県内小規模市町での学校実習及び地域住民との交流・協働活動により、教職として、また、**地域創生リーダー**として**地域づくり(学校・家庭・地域の連携による教育・スポーツ・文化創生)**に貢献できる人材を育成する。



Society5.0対応⇒ICT活用指導力トップ5%人材育成プログラム

教育学部800時間、教職大学院540時間のICT教育カリキュラムを構築し、**学校のICTリーダー**を大量に輩出する。



教職の魅力化対応 ⇒ 5年一貫型養成プログラム

教職の魅力化=高度専門職化を、理論-実践往還の2期サイクル(学部3.5・教職大学院1.5)の**5年一貫型養成プログラム**の展開を通して実現する。履修証明制度を活用することで、学部生が4年次に取得した授業科目を単位として読み替え、教職大学院を40単位以下の履修で修了可能なシステムを構築し、高度専門職としての教員を大量に輩出する。



人生100年時代対応 ⇒ 教職セカンドキャリア開発プログラム

外部諸機関との連携により、教職大学院が担当する現職研修の領域を拡張し、**管理職養成事業の拡充, 教員によるチーム学校専門スタッフへの移行支援, 再任用教員・外部人材の職能再開発, 博士課程参加による大学教員養成事業**を展開する。教職が多様なセカンドキャリアを選択できる人生100年(75歳現役)社会に対応した事業を展開し、職能成長と共に教員の個人的・集团的ウェルビーイングを高める。

